



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月28日

上場取引所 東

上場会社名 芝浦メカトロニクス株式会社
 コード番号 6590 URL <http://www.shibaura.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤田 茂樹
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理本部長 (氏名) 道嶋 仁
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 045-897-2425

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	31,907	9.4	494	—	473	—	183	—
27年3月期第3四半期	29,173	25.9	△110	—	8	—	△433	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 258百万円 (—%) 27年3月期第3四半期 △220百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年3月期第3四半期	3.71	—
27年3月期第3四半期	△8.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
28年3月期第3四半期	54,583	16,166	29.6	327.24
27年3月期	54,720	16,057	29.3	325.01

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 16,166百万円 27年3月期 16,057百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では28年3月期の期末配当予想額は未定であります。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	47,000	7.3	1,400	37.0	1,200	5.4	800	14.8	16.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	51,926,194 株	27年3月期	51,926,194 株
28年3月期3Q	2,522,100 株	27年3月期	2,519,101 株
28年3月期3Q	49,404,972 株	27年3月期3Q	49,409,077 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①業績全般について

当第3四半期連結累計期間における当社グループの事業環境は、国内では円安や原油安の影響もあって緩やかな回復基調の中にありましたが、海外では米国経済が緩やかな回復基調にあるものの、中国経済の減速や欧州や中東の地政学的リスクの高まりなどがあり、総じて先行き不透明な状況が続きました。

このような状況において、当社グループでは、液晶パネル分野はTV用大型パネル向け装置の受注が減少しましたが、スマートフォンやタブレットなどモバイル機器用中小型パネル向け装置の受注は増加、全体として受注は増加し、同様に売上も増加しました。

半導体分野は、顧客の設備投資時期の調整などにより前工程向け装置の受注が減少しましたが、モバイル機器用半導体の需要増を受けて後工程向けボンディング装置の受注は増加、全体として受注は減少し、売上は前工程向け装置および後工程向けボンディング装置ともに増加しました。

こうした中で、当第3四半期連結累計期間の業績は、受注高は32,810百万円（前年同期比4.0%増）、売上高は31,907百万円（前年同期比9.4%増）となりました。利益については、営業利益は494百万円（前年同期は営業損失110百万円）、経常利益は473百万円（前年同期は経常利益8百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は183百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失433百万円）となりました。

②セグメントの業績について

(ファインメカトロニクス部門)

液晶パネル前工程では、大型パネル向け装置の受注は減少しましたが中小型パネル向け装置の受注は大幅に増加、全体として受注は増加し、同様に売上も増加しました。

半導体前工程では、半導体マスク関連装置は受注、売上ともに増加しましたが、半導体WET装置は顧客の設備投資時期の調整などにより受注、売上ともに減少しました。

部門全体では受注、売上ともに増加しました。一方、将来に向けた研究開発投資や棚卸資産評価減を進めたこと、想定範囲内ではあるものの原材料の輸入価格が増加していることに加え、現地費用の増加によりセグメント損失となりましたが、若干の改善となりました。

この結果、当セグメントの売上高は17,774百万円（前年同期比11.3%増）、セグメント損失は477百万円（前年同期はセグメント損失521百万円）となりました。

(メカトロニクスシステム部門)

液晶パネル後工程向け装置は、受注は減少しましたが、売上は、大型パネル向け、中小型パネル向けともに増加しました。

半導体後工程向け装置は、モバイル機器用半導体の需要増を受け、受注、売上ともに増加しました。

また、太陽電池用製造装置の大型受注がありました。真空応用装置は、受注、売上ともに減少しました。

部門全体では受注は減少しましたが、売上は増加しました。また、プロダクトミックスの変動により収益性の高い装置の売上に占める割合が増加したことなどによりセグメント利益が増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は11,479百万円（前年同期比8.3%増）、セグメント利益は937百万円（前年同期比164.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ137百万円減少し54,583百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ298百万円減少し41,919百万円となりました。これは主に、現金及び預金が増加したものの、売掛金及び棚卸資産が減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ161百万円増加し12,663百万円となりました。これは主に、有形固定資産及び無形固定資産が減価償却等により減少したものの、評価設備等の製作により建設仮勘定が増加したことによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ246百万円減少し38,416百万円となりました。これは主に、支払手形が減少したことによるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ108百万円増加し16,166百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金及び未認識債務の減少に伴って退職給付に係る調整累計額が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績につきましては、ほぼ当初の計画通りに推移していますので平成27年4月23日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、税引前四半期純利益に法定実効税率をベースとした年間予測税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(連結財務諸表に関する会計基準の適用)

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,213	5,091
受取手形及び売掛金	30,567	29,274
電子記録債権	322	690
商品及び製品	1,440	1,421
仕掛品	3,149	3,077
原材料及び貯蔵品	159	183
繰延税金資産	648	417
未収入金	1,221	1,013
その他	532	769
貸倒引当金	△37	△20
流動資産合計	42,217	41,919
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,275	28,284
減価償却累計額	△18,708	△19,074
建物及び構築物(純額)	9,567	9,209
機械装置及び運搬具	3,072	3,463
減価償却累計額	△2,297	△2,721
機械装置及び運搬具(純額)	775	742
工具、器具及び備品	597	649
減価償却累計額	△491	△527
工具、器具及び備品(純額)	105	122
土地	119	119
リース資産	369	354
減価償却累計額	△259	△267
リース資産(純額)	110	86
建設仮勘定	525	1,102
有形固定資産合計	11,203	11,382
無形固定資産		
特許権	362	352
その他	201	174
無形固定資産合計	564	526
投資その他の資産		
投資有価証券	125	131
長期前払費用	6	6
繰延税金資産	217	231
その他	386	387
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	734	754
固定資産合計	12,502	12,663
資産合計	54,720	54,583

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,618	12,381
短期借入金	5,720	5,570
1年内返済予定の長期借入金	700	—
リース債務	39	36
未払法人税等	205	70
未払費用	2,813	3,007
前受金	542	672
役員賞与引当金	23	25
受注損失引当金	21	—
その他	463	456
流動負債合計	23,146	22,220
固定負債		
長期借入金	5,800	6,500
リース債務	83	60
長期未払金	4	4
退職給付に係る負債	6,134	6,166
役員退職慰労引当金	11	5
修繕引当金	373	347
資産除去債務	34	34
長期預り保証金	3,072	3,075
固定負債合計	15,515	16,195
負債合計	38,662	38,416
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,761	6,761
資本剰余金	9,107	9,107
利益剰余金	2,386	2,422
自己株式	△1,721	△1,722
株主資本合計	16,534	16,568
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32	35
為替換算調整勘定	401	330
退職給付に係る調整累計額	△910	△768
その他の包括利益累計額合計	△476	△402
純資産合計	16,057	16,166
負債純資産合計	54,720	54,583

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	29,173	31,907
売上原価	22,929	24,801
売上総利益	6,244	7,105
販売費及び一般管理費	6,355	6,610
営業利益又は営業損失(△)	△110	494
営業外収益		
受取利息	9	7
受取配当金	1	1
為替差益	347	89
デリバティブ評価益	—	10
保険解約返戻金	21	—
その他	69	43
営業外収益合計	449	152
営業外費用		
支払利息	109	109
デリバティブ評価損	172	—
その他	46	64
営業外費用合計	329	174
経常利益	8	473
特別損失		
事業構造改善費用	93	—
環境対策費	71	—
特別損失合計	165	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△156	473
法人税、住民税及び事業税	31	76
法人税等調整額	245	213
法人税等合計	276	290
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△433	183
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△433	183

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△433	183
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	3
為替換算調整勘定	13	△70
退職給付に係る調整額	192	141
その他の包括利益合計	213	74
四半期包括利益	△220	258
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△220	258

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	15,975	10,597	1,130	1,470	29,173
セグメント間の内部売上高又は振替高	8	137	0	—	146
計	15,984	10,734	1,130	1,470	29,320
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△521	354	△71	336	98

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	98
全社費用(注)	△218
その他	129
四半期連結損益計算書の経常利益	8

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク システム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	17,774	11,479	1,137	1,515	31,907
セグメント間の内部売上高又は振替高	13	111	0	—	124
計	17,787	11,591	1,137	1,515	32,032
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△477	937	△75	369	754

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	754
全社費用(注)	△300
その他	20
四半期連結損益計算書の経常利益	473

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。